

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年10月12日

【評価実施概要】

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 事業所番号 | 2570100632 |
| 法人名 | 有限会社ミテラ |
| 事業所名 | 洛和グループホーム大津 |
| 所在地 | 滋賀県大津市長等3丁目6-16 (電話) 077-511-4025 |

| | | | |
|-------|--------------------------------------|-------|-------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター | | |
| 所在地 | 〒530-0041 大阪市北区天神橋二丁目北1番21号八千代ビル東館9階 | | |
| 訪問調査日 | 平成19年9月28日 | 評価確定日 | 平成19年11月26日 |

【情報提供票より】(19年8月10日事業所記入)

(1) 組織概要

| | |
|-------|---------------------------------|
| 開設年月日 | 昭和・ <u>平成</u> 13年 11月 1日 |
| ユニット数 | 1 ユニット 利用定員数計 7 人 |
| 職員数 | 9 人 常勤 3 人, 非常勤 5 人, 常勤換算 7.0 人 |

(2) 建物概要

| | | |
|------|--------|------|
| 建物構造 | 鉄筋造り | |
| | 2 階建ての | 2階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|------------------|----------------|----------|---|
| 家賃(平均月額) | 50,000 円 | その他の経費(月額) | 24,000 円 | |
| 敷金 | 有(円) | 無 | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(200,000円) 無 | 有りの場合 償却の有無 | 有(無) | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり | | 1,700 円 | |

(4) 利用者の概要(8月 10日現在)

| | | | | | |
|-------|---------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 7 名 | 男性 | 3 名 | 女性 | 4 名 |
| 要介護1 | 0 名 | 要介護2 | 5 名 | | |
| 要介護3 | 1 名 | 要介護4 | 0 名 | | |
| 要介護5 | 1 名 | 要支援2 | 0 名 | | |
| 年齢 | 平均 82 歳 | 最低 | 72 歳 | 最高 | 95 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|----------------|
| 協力医療機関名 | 医療法人社団 洛和会音羽病院 |
|---------|----------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

医療、介護、健康保育、教育研究の総合ネットワークを持つ洛和ヘルスケアシステムが運営するグループホームの一つです。1階がデイセンター、訪問看護ステーション、居宅支援事業所になっており、近くにはお寺や散歩に最適な遊歩道や、商店もあり、とても住みやすい中に立地しています。入居者一人ひとりについて職員間で深く考えられており、言葉かけひとつについても工夫されています。職員は定着し、「みんな楽しく笑顔で」をモットーにコミュニケーションを通して一丸となって、情報の共有をしながら、きめ細やかなケアがされています。入居者はこれまでの生活スタイルを維持しながら、クロスワードパズルやエッセイを書いたり、生け花をしたり、展覧会に出品する作品を作ったり、日々の散歩やお風呂など役割や楽しみを持って過ごしています。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|-------|---|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 前回の改善項目である、玄関まわりについては家庭的になるように造花を飾ったりしています。鉄筋が出ているところについてもカバーをするなど職員間で話し合われています。 |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 管理者と常勤職員で自己評価して、非常勤職員については回覧して内容を共有しています。今後も全員で自己評価に取り組み、ケアの振り返りや自信につながる事で、より質の確保に活かしていく事が期待されます。また、自己評価の結果、改善点については計画表を活用し、優先順位を決めて取り組む事も期待されます。 |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) |
| | ホームでの取り組み報告のほか、地域の情報を得たり、意見を頂いて、サービスの質の向上を図っています。地域との交流がこれまで難しい面もありましたが、運営推進会議を通して関わり方について考えられるようになり、より良い場となっています。今後も地域の理解と支援をえるための貴重な機会となるようさらなる取り組みが期待されます。 |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) |
| | カンファレンスへの呼びかけや希望を聞く用紙の送付、苦情箱設置など気軽に表せる機会を設けています。また、年に2回法人の取り組みとして家族アンケートを実施しています。また、家族がホームに来られた際や電話にて意見を言える雰囲気づくりをしています。 |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | 自治会に加入し、出来るだけ地域の行事に参加しており、作品を作ったの展示会や、運動会、夏祭りに参加しています。地域の方も来られる法人主催の洛和フェスティバルにて入居者の方も作品を展示したり、イベントに参加しています。また、中学生の体験学習も受け入れています。少しずつ地域に開けたホームとなっており、今後、広いホームの屋上を開放したイベント等地域の方にホームに足を運んでもらう取り組みの検討が期待されます。 |

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|---|------|--|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 洛和会の法人としての理念を掲げられており、地域の中での生活や入居者一人ひとりの個性に合ったケアがされている。管理者と職員は話し合い、「みんな楽しく笑顔で」をモットーに大切にしている。 | ○ | 地域の方やボランティアとの連携を通して協力を行うなど、地域交流に努められている。今後、地域との関わりについて具体的に謳ったグループホーム独自の理念を追加する事が期待される。 |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念はリビングの目に付くところに掲げられている。毎月のカンファレンスや日々のケアの中で理念の実践に向けて取り組まれている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 自治会に加入し、出来るだけ地域の行事に参加しており、作品を作ったの展示会や、運動会、夏祭りに参加している。地域の方も来られる法人主催の洛和フェスティバルにて入居者の方も作品を展示したり、イベントに参加している。また、中学生の体験学習も受け入れている。 | ○ | 少しずつ地域に開けたホームとなっている。今後、広いホームの屋上を開放したイベント等地域の方にホームに足を運んでもらう取り組みの検討が期待される。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 管理者と常勤職員で自己評価して、非常勤職員については回覧して内容を共有している。前回の改善項目である、玄関まわりについては家庭的になるように造花を飾ったりしている。鉄筋が出ているところについてもカバーをするなど職員間で話し合っている。 | ○ | 自己評価については職員間で共有している。今後も全員で自己評価に取り組み、ケアの振り返りや自信につなげる事で、より質の高いケアに活かしていく事が期待される。また、自己評価の結果、改善点については計画表を活用し、優先順位を決めて取り組む事も期待される。 |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | ホームでの取り組み報告のほか、地域の情報を得たり、意見を頂いて、サービスの質の向上を図っている。地域との交流がこれまで難しい面もあったが、運営推進会議を通して関わり方について考えられるようになり、より良い場となっている。 | ○ | 今後も地域の理解と支援をえるための貴重な機会となるようさらなる取り組みが期待される。 |

洛和グループホーム大津

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|----|--|--|------|--|
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 法人としての関係だけでなく、所長が個人的にもいろいろと相談している。 | ○ | 他のホームの状況や情報、アドバイスなどをもらうだけでなく、ホーム側からの働きかけを通して行政との連携を図られることが期待される。 |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 家族がホームに来られた際や電話、毎月のホームたよりに手書きで入居者の日頃の暮らしぶりや健康状態について伝えている。また、月間のバイタルや食事摂取量や入浴などを記録したケアチェック表も送付している。金銭については毎月出納帳のコピーと領収書を送付している。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | カンファレンスへの呼びかけや希望を聞く用紙の送付、苦情箱設置など気軽に表せる機会を設けている。また、年に2回法人の取り組みとして家族アンケートを実施している。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 馴染みの職員が対応する事が重要であると考えられているが、常勤のやむを得ない法人内異動がある。その場合は人員配置の工夫など馴染みの関係づくりに配慮している。非常勤に関しては離職が少なく、職員全体のコミュニケーションがとられており、連携が図られている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 法人内での研修年間計画が立てられており、段階に応じた現任、新任の内部研修や外部研修に出来るだけ出席している。受講後は報告書を作成し、会議の際に伝達研修を職員間で共有している。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 外部研修やグループホーム協議会への参加を通して、ネットワークづくりを行っている。また、法人内での交換研修の実施を予定している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|--|------|----------------------------------|
| Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 見学の際はリビングで他の入居者と一緒に過ごしてもらするなど、関係づくりを大切にしている。また、サービス開始時はその方とじっくり関わり、緊張を和らげ、少しずつ馴染めるように配慮している。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 支援する側、される側との意識を持たず、対等関係である事を念頭において、一緒に過ごす時間を大切にしてい、共に支えあえる関係づくりに配慮している。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | センター方式を活用して情報収集に努めており、職員全員でカンファレンスを行い話し合いながら一人ひとりのニーズを検討している。また、把握が困難な場合は表情や行動からキャッチしている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | センター方式にてアセスメントを行い、入居者の意見や希望は日々の会話の中で把握している。家族にはカンファレンスへの参加の呼びかけや、希望を聞く用紙を送付して意見を求めたり、来訪時に相談している。職員間ではカンファレンスにて話し合い、一人ひとりに合ったケアプランが作成されている。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 3ヶ月に一度の見直しを実施しており、状態変化があった場合はすぐに対応している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|----|---|---|------|----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用) | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 本人や家族の状況に応じて通院の支援や、一人ひとりの意向に合わせた個別の外出支援を行っている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 入居時に家族と相談して、主治医を決めている。24時間対応可能なかかりつけ医による往診、訪問看護ステーションとの連携もある。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 法人としてのターミナル指針については家族の同意を得ている。ターミナルケアに入る場合は家族の意向を把握しつつ、主治医、看護師、職員と話し合いを持ちながら支援する予定である。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | プライバシーに配慮した、言葉掛けや対応を行っており、管理者から会議等で話をしている。個人情報に関しては全職員が研修を受けており、記録等は鍵付の棚で管理している。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 共同生活を尊重しながらも、一人ひとりのこれまでの生活スタイルを大切にしている。実際に朝食の時間や就寝時間もバラバラであり、散歩も一人ひとりの状態や思いに対応している。 | | |

洛和グループホーム大津

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|---|---|------|---|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 言葉掛けを工夫して入居者と一緒に献立を決めて、調理、配膳、食事、後片付けは個々の力を活かしながら職員と一緒にしている。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 毎日の入浴が可能であり、希望を聞きながら入りたい時に入れる支援がされている。夜間の入浴も可能である。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | センター方式にて一人ひとりの把握に努め、クロスワードパズルやエッセイ、新聞、生け花、裁縫、お風呂、散歩など楽しみや役割を持ってもらえる支援をしている。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 散歩を日課としており、ホーム近くの遊歩道や公園に出掛けている。歩くことが困難な方はドライブに出掛けている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 見守りと、安全面を考慮したセンサーで、日中は鍵を掛けずに自由な暮らしを支援している。 | | |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年1回の消防署による防災訓練、2ヶ月に1回、ホーム独自で夜間を想定した訓練を行っている。また運営推進会議において、地域の協力を依頼している。 | ○ | 運営推進会議を通して地域との関わりに取り組まれている。今後、地域の消防団など地域の方と一緒に避難訓練をしたり、災害時には、協力し合う取り組みが期待される。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|---|--|------|--|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事摂取量は一人ひとり記録し、水分摂取量は必要な方のみ把握している。また、法人の栄養士に、毎月献立表をチェックしてもらい、アドバイスをもらう体制がある。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 限られたスペースの中でソファを置いたり、季節の花を生けたり、入居者の似顔絵を飾ったり、居心地良く過ごせる空間づくりをしている。 | ○ | 眺めの良い広い屋上があり、ティータイムを楽しんでもらっている。今後さらに有効的に使える工夫が期待される。 |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 使い慣れた家具や馴染みの物、思い出の物を持ち込んでもらい、落ち着いて過ごせる空間づくりをしている。 | | |